

令和6年度第3回糸魚川市地域公共交通協議会

【日時及び会場】

令和7年3月12日（水）13:30～14:40

糸魚川市民会館 3階会議室

【出席委員】

井川賢一会長、小林久男委員代理、塚田二郎委員、武田礼子委員代理、小谷野黎委員代理、山田明男委員、米山大樹委員代理、藤山育郎委員、坂本誠一委員、関正巳委員、川浦幸太郎委員代理、恩田浩幸委員、廣井亘委員、渡辺闌壽委員、内藤正樹委員、吉原忠雄委員代理、新倉孝礼委員、玉井宜雄委員、岡田一貴委員代理、山本宏樹委員、野本宏一委員、渡辺一彦委員 以上 22人

【事務局】

産業部：五十嵐博文部長

都市政策課：内山俊洋課長（事務局長）、伊井隆広課長補佐（事務局次長）、
仲川智明主査、西依洗介主事

企画定住課：廣川一幸係長

福祉事務所：仲谷貴子係長

【会議の概要】

1 開会

- ・伊井課長補佐の進行で13:30開会

2 会長挨拶

- ・会長（糸魚川市副市長）による挨拶。

<会議成立報告>

- ・委員出席状況は、総数27人中22人が出席となり、協議会規約第9条第2項に規定する過半数に達していることから、本会議の成立要件を満たしている旨を報告。

3 議事

- ・議事進行は会長（糸魚川市副市長 井川会長）

議案第1号 令和7年春 路線バスダイヤ改正

委員：改正の方針で、平日について通学通院の利用を、土曜日については中学校の部活動を配慮とのことだが、高校生についてはいかがか。

事務局：平日の通学通院への配慮の中に高校生も含まれている。夕方の減便については高校生の下校に関連するものもあるが利用状況を確認し2便を1便に統合等している。
土曜の高校生の部活となると、行きはあるが帰りが無いことも想定されるが、路線バス利用が少ない状況からの判断。

(決議) 原案のとおり承認

議案第2号 糸魚川市地域公共交通計画（マスタープラン）案

委員：パブリックコメントについて。1か月間意見募集し提出が0件であったわけだが、もっと意見を提出いただける工夫も次回検討してほしい。提出意見が多い少ないは関係なく、広報や市公式LINEなど幅広くアプローチし多くの方から計画を見ていただくことも大切だと思う。

この計画を踏まえ、次年度以降優先的に取り組んでいきたいことあればお聞かせください。

事務局：この計画をもって、地域の交通をどうしていくかを住民の方のお話を聞き一緒に考えていく。次年度具体的なものは決めずに、話し合いの中で具体化していきたい。

委員：国でも予算をつけ補助制度を準備しておりますのでご検討ください。

委員：テレビで新潟に住みたいかのアンケートをやっていて、一番多くの意見があったのが「交通の自由がない」という意見で個人的に印象が強かった。今回の計画においては、「最低限の交通」や「移動に困っている人への交通」などになりがち。致し方ないところも理解できるが、未来の糸魚川を魅力あるものに作っていくためにも、自由のある公共交通についても見えるとよいと思う。

事務局：このご時世においては暗い方向になりがちなどころではあるが、交通の体系や手法について色々検討を始めている地域がある。また自動運転も一手法として検討している。

公共交通の重要性は変わらないので、運転手を確保し維持していきたい。

会長：糸魚川市においては、交通担当部署の都市政策課だけにまかせるのではなく、地域づくり担当部署や福祉部署から協議会に参加し状況を共有している。他の部署とも一緒に話し合いの中で、新しい交通体系を考え作っていきたいと考えている。

(決議) 原案のとおり承認

4 その他

- ・議事進行は伊井課長補佐

○大糸線の利用促進の取組み

事務局：6月から運行している臨時増便バスは、12月から運行ダイヤとルートを変更し今月末まで運行。次年度も継続運行できるよう現在調整中。

事務局：臨時増便バスでグリーンシーズンに一番多かった時期は8月。冬になり、12～2月の利用は多い状況。

1年目の取り組みであり、インバウンド客への周知や認知が弱かった部分がある。来年度も実施する方向で考えている。

○新潟県広域移動実態等調査について

事務局：本協議会にて特別会計を設置し実施したもので、結果について報告。二次交通整備事業と広域移動実態調査の2つで構成。

二次交通整備事業は、能生駅と根知駅にレンタルサイクルを、糸魚川駅にレンタル電動キックボードを設置し、GPSにより移動実態を把握するもの。8月から10月まで実施。

糸魚川駅は27件、能生駅は12件、根知駅は0件と利用は少なかった。

広域移動調査は、スマートフォンの位置情報データから状況を把握するもので、北陸新幹線敦賀延伸前後の令和5年8月と令和6年8月で比較。敦賀延伸により鉄道での移動が増加。さらに関西方面からの移動が増加しており、敦賀延伸の影響と推察している。

○自動運転の視察報告

事務局：自動運転の先進地視察について石川県小松市と長野県塩尻市の2か所報告。

自動運転技術は日々進歩している段階で、完全自動運転（自動運転レベル5）にはまだしばらく時間がかかる。糸魚川市での自動運転の取組みについて、具体的な動きはないが情報収集や検討を継続する。

○開業10周年イベントについて

事務局：3月14日に北陸新幹線糸魚川駅とえちごトキめき鉄道の開業10周年を迎える。

糸魚川駅において開業10周年イベントを開催することについての周知。

5 閉会

(14:40 終了)

■協議会の様子

